

令和5年度上半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市文化センター、岐阜市民会館)	所管課	ぎふ魅力づくり推進部 文化芸術課
所在地	【文化センター】岐阜市金町5丁目7番地2 【市民会館】岐阜市美江寺町2丁目6番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	350,776,000 円		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	【文化センター】催し広場1、小劇場1、練習室1、展示室1、会議室2、音楽室1、音楽スタジオ1、録音室1、美術工芸室2、和室2 【市民会館】ホール1、展示ギャラリー1、会議室2、多目的ルーム2、練習スタジオ1、和室1		

●利用状況

文化センター		R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期
利用者数(単位:人)		40,388	61,593	39,446	30,210	17,719
各室稼働状況(%)	催し広場	28.6%	51.6%	39.3%	32.5%	27.3%
	小劇場	36.7%	56.3%	44.5%	38.7%	33.4%
	練習室	30.6%	44.4%	44.4%	31.7%	35.1%
	展示室	42.1%	51.8%	43.7%	37.4%	37.2%
	会議室	36.3%	42.2%	33.1%	24.3%	19.7%
	音楽関係室	25.7%	20.2%	18.1%	13.1%	15.8%
	美術工芸室	17.7%	21.1%	19.0%	18.1%	21.2%
	和室	15.1%	23.3%	15.6%	15.8%	23.5%

市民会館		R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期
利用者数(単位:人)		40,586	11,833	40,304	41,628	25,419
各室稼働状況(%)	大ホール	30.3%	0.0%	34.8%	40.0%	44.7%
	展示ギャラリー	31.3%	36.4%	28.4%	32.9%	33.3%
	会議室80	23.2%	29.1%	25.8%	26.4%	25.5%
	会議室48	29.8%	36.5%	33.4%	32.1%	29.8%
	多目的ルームA	22.3%	23.2%	19.5%	23.0%	25.7%
	多目的ルームB	31.0%	23.9%	30.5%	31.4%	29.4%
	練習スタジオ	22.0%	19.8%	20.2%	26.3%	25.4%
	和室	14.2%	17.8%	17.8%	24.8%	27.4%

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聴くためのアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①遵守されており、適切な運用が行われている。 ②利用者サービスの提供に支障のない適切な人員配置となっている。業務を適切に遂行できるよう、適宜研修を実施している。 ③ホームページ、SNS、広報誌、独自に隔月に発行する催し物案内等を活用した広報活動を実施している。 ④来館者に対しアンケートボックスを設置している。利用者に向けてアンケートを配布、実施する期間を設け、積極的に意見聴取に取り組んでいる。 ⑤苦情や要望に対し、適切に対応している。
自主事業・共催事業	市民の劇場(指定事業)の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②歌う海賊団っ！ファミリーコンサート ③松竹大歌舞伎 ④子ども伝統文化体験教室・発表会(落語)&出前講座(能楽) ⑤第34回・35回市民プロデュース公演応援プロジェクト<公募> ⑥ぎふ演劇ワークショップ2023(共催) ⑦岐阜市中学校美術作品展2023(共催) 市民ふれあい事業(財団主催事業)の実施 ①「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ②市民プロデュース公演応援プロジェクト<採択事業> 「歴史の追奏 ～音は世につれ世は音につれ～」(共催) ③戯曲セミナー&リーディング発表会 ④グランドピアノ演奏体験	市民の劇場(指定事業)の実施 ①【オーディション】5月14日(日) 参加者33人 ②来場者数522人 ③来場者数【昼の部】314人【夕方の部】283人 ④【子ども伝統文化体験教室(落語)】 募集20人 参加者15人 ⑤【第34回募集】応募団体2団体 採択団体2団体 【第33回採択事業】小規模会場プログラム1件実施 来場者36人 ⑥【高校生対象】来場者数617人【中学生対象】来場者数381人 ⑦【文化センター街並ギャラリー展示】毎月市内中学校2校 市民ふれあい事業(財団主催事業)の実施 ①【依頼演奏】梅林小学校 参加者178人 ②来場者数341人 ③【セミナー】募集25人 参加者34人 ④【市民会館】3日間実施 募集18組 応募18組 参加者15組 【文化センター】5日間実施 募集34組 応募34組 参加者33組

施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤各種点検業務	①日常清掃、定期清掃を実施。 ②巡視・点検を随時行い、適切に管理している。 ③受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助について計画通り実施している。 ④貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病害虫等調査・防除業務について計画通り実施している。 ⑤実施計画に基づき、順次実施している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	日常業務の中で施設の状況を把握し、適切な修繕を実施している。 【文化センター】 ・R-3ガス焚き冷温水発生機電極棒取替修繕 ・塔時計照明取替修繕 他 【市民会館】 ・北棟2階通路扉修繕 ・舞台調光設備電源レギュレーター修繕 他
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①条例等を遵守し、適切に対応した。また、マイナンバーの取扱いについて、特定個人情報取扱規程を作成・運用している。 ②独自の危機管理マニュアルを定め、消防・防災訓練等を計画的に実施している。また、普通救命講習の受講など、緊急時に迅速に対応できるよう努めている。 ③関係法令を遵守した運営が行われている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 一定の期間、各施設利用者を対象にアンケートを実施するほか、ホール系施設(催し広場、小劇場、大ホール)利用者には通年でアンケートを実施するなど、計画的に取り組んでいます。 常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内に設置しています。 来館者、利用者の意見・要望を聞きとり、「ご意見受付シート」を作成、閲覧することで改善に努めています。
利用者アンケートの実施結果	<p>【文化センター(84人回答)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「今後も利用したい」の項目で100%の利用者が「はい」と回答しており、職員の対応の項目は「非常に良い」と「良い」の合計が100%の評価でした。 ご意見を記入する項目では「部屋やトイレなど、いつもきちんと清掃していただいて気持ちよく使わせていただいています。本当にありがとうございます。」「利用にあたっては、何かと配慮賜りありがとうございます」などリピーターを中心に多くの利用者に快適にご利用いただいております。 <p>【市民会館(57人回答)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「今後も利用したい」の項目で96%の利用者が「はい」と回答しており、職員の対応は「非常に良い」と「良い」の合計が98%の評価でした。 ご意見を記入する項目では「総じて使用しやすい環境にあります。」「この広さでこの料金ならば利用しやすいと思います。」「リピーターを中心に多くの利用者に快適にご利用いただいております。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<p>【文化センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 場所によってWi-Fiが繋がらない。インターネット環境がもっとよければ満足。 →確認したところ回線速度に大きな違いはありませんでした。利用中にWi-Fiの接続が安定しない場合は、有線LANの貸出によって対応することをお伝えしました。 茶室付き和室の机が重いので改善してほしい →今後の備品更新の参考にさせて頂く旨を説明しました。 <p>【市民会館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 机の取り扱いに苦勞している。(高く積み重ねてあり上げ下げが大変) →和室内の備品倉庫を整理し、利用者が使いやすいよう机を減らしました。 駐車場を無料か割引で利用できるともっと利用したいと思う。(岐阜市の施設だから公共だと思ふ) →西側駐車場は大ホールが優先利用できるため各室のお客様にご利用いただくことは難しいですが、大ホールの利用がない場合には開放しているためご利用可能な旨、ご説明しました。(※当日は大ホールのご利用があり西側駐車場は占有されていました。)

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・条例等に基づいた管理運営が適正に行われているか。また、そのためのモニタリングは実施されているか。	A	A	A
		個人情報の保護等	・個人情報の保護についての管理対策は適切に実施されているか。	A	A	A
		広報の方策	・平等利用のための適切な広報活動ができていないか。	A	A	A
		情報公開	・市の情報公開制度に基づき適切に実施されているか。また、理解しているか。	A	A	A
	区分評価					A
効果性	対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮されること	事業計画の履行状況	・実施計画どおりに事業が実施されたか。また、計画どおりの成果があったか。	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか。	S	S	S
		指定事業・自主事業(共催事業)の内容	・施設の設置目的にあった事業となっているか。成果があったか。指定管理者の有する人材・ネットワーク・経験を活かすことができたか。	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及びサービスの質を確保するための体制	・利用者ニーズ等を把握するために、アンケート調査等を実施しているか。また、寄せられた意見に対しては、適切に対応しているか。運営に反映しているか。	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・積極的な広告宣伝の実施により、利用者の拡大を図っているか。	S	A	A
区分評価					A	
効率性	管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の縮減が図られているか。	A	A	A
		予算執行の適正	・適正に執行しているか。また、不要な予算の執行をしていないか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	・過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	A	A	A
	区分評価					A
安定性 安全性	管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・各分野での専門知識、経歴や資格を有するスタッフを配置しているか。	A	A	A
		職員の管理・人材育成の方策	・職員の管理は適切に行われているか。また、人材の育成体制は整備され、適切に実施されているか。	S	S	S
		緊急時の対応	・事故、災害等緊急時の対策、対応は適切か。また、防犯に対する対策は適切か。	S	S	S
		グループ応募(コンソーシアム)の場合、グループの安定性	・コンソーシアムの構成団体本体の経営基盤は安定しており、リスクに対応する十分な体制が整備されているとともに十分な対応がとられているか。また、コンソーシアム内の連携が取られているか。			
		施設の管理	・施設の保守、点検等適切に実施しているか。	A	A	A
区分評価					A	
貢献性	岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献しているか	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	・業務の再委託先は、原則、地元業者の中から採用しているか。	S	S	S
		その他地元への貢献に関すること	・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか。	S	S	S
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

1. 新たな利用者の開拓とリピーターの確保

【文化センター】

附属設備等を含む施設使用料が昨年度比で約619万円の減少となりました。昨年度多く開催された催し広場を利用した展示会の減少や、9月より小劇場特定天井改修工事で利用を停止していることが、施設使用料減少の要因となります。新型コロナウイルス感染症が5類に変更された影響もあり、各室では利用日数・施設使用料が増加し、新規団体の利用も増加傾向となっています。新規団体については、利用者と密に連絡をとり、下見対応を丁寧に行うことで、一部の団体はリピーター化へ繋げることができました。

【市民会館】

附属設備等を含む施設使用料が昨年度比で約134万円の増加となりました。これは、昨年度大ホールの利用停止期間があったこと(9月から大ホール特定天井改修工事による利用停止)が大きな要因となります。また各室では新規団体の問い合わせが多くなってきており、施設全体のリピーターの利用も堅調です。今後も継続して利用いただけるよう利用者への対応を丁寧にしていきます。

【利用相談会】

新たに開始したホームページ上でのホール系施設予約状況の公開や、4月より文化センターで開始するホール・会議系施設の無料Wi-Fi・有線LANサービスをPRすることで、多くの方に来場いただくことができました。

2. 利用者・来館者への情報提供

- ・親子イベントに特化した子どもとお出かけ情報サイトを活用し、県外への情報発信やPRに努めました。
- ・X(旧Twitter)やFacebook、YouTubeチャンネルを活用し、施設利用や文化芸術事業について、幅広い世代に情報がいきわたるようにPRしました。
- ・文化センター、市民会館ロビーに岐阜市観光案内コーナーを設置し、チラシ、パンフレット等を配布することで、岐阜市の観光情報の発信に努めました。
- ・文化センターでは、隣接する金公園がリニューアルオープンしたことで様々なイベントが開催されていますが、事前に市や公園のイベント主催者と協議を重ね、施設利用者にも情報提供を行い、施設の利用に支障の無いよう調整を行いました。また、公園に関する市民からの問い合わせも多いですが、市と連携して真摯に対応を行いました。
- ・令和6年度に予定されている国民文化祭や催し広場の特定天井改修工事による貸館受付への影響について、情報公開後いち早くリピーターに連絡し、代替施設や代替候補日の提案等を行いました。
- ・市民スタッフ事業で企画のノウハウを学んだ市民ボランティアが、自立して落語会の定期開催を始めたため、集客についてのアドバイスやチラシの折込等積極的に協力しました。

3. 施設・設備の点検・修繕・省エネ

【文化センター】

- ・舞台付和室の幕が経年劣化により色飛び破損が著しいため、取替修繕を実施しました。
- ・印刷代を節約するための印刷機(リソグラフ)について分離ポンプユニットの動作不良が発生したため、早急に部品取替修繕を実施しました。

【市民会館】

- ・来館者の転倒防止のため東正面玄関緑石の周りにスロープを付けて段差をなくす修繕を実施しました。
- ・休憩時間の光熱費の使用は最低限とし、事務所内の照明を一部消灯する省エネに努めました。
- ・多目的ルームの机が軽量であるため台車に載せる際に破損することが多かったため、職員で机の台車に工作を行い机を傷つけにくいよう対策を取るなど、修繕費用の縮減に努めました。
- ・大ホールトイレにベビーチェアを設置、女性トイレにしかなかったおむつ交換台を男性トイレに設置するなど乳幼児連れの来館者が利用しやすい環境を整えました。
- ・雑誌と雑誌置き場を設置し、アメニティバッグの活用を徹底するなど、事務所等での出るゴミの減量・資源化に努めました。

4. 市民の劇場・市民ふれあい事業

【市民参画創造型事業】

- ・市民ジャズ・ビッグバンドを運営する「楽市JAZZ楽団」事業では、コロナ禍以降見送っていた総オーデションを実施しました。「楽市JAZZ楽団」では、定期的に楽団を解散し総オーデションを行い、所属チームを固定せず切磋琢磨することで技量向上を図っています。

- ・「市民スタッフ育成事業」では表方研修を行い、市民ボランティアのスキルアップに努めました。

【普及啓発・育成型事業】

- ・「子ども伝統文化体験教室」では、初めて落語を取り上げ、岐阜市が落語の祖である安楽庵策伝ゆかりの地ということを活用した事業として、落語文化の普及に努めています。

- ・「ぎふ演劇ワークショップ2023」高校生の部では、演技・舞台技術の向上をめざすワークショップを34校の県内演劇部員の参加により開催し、中学生の部はコンクール形式の大会として県内4校の参加を得て実施しました。

- ・「楽市JAZZ楽団地域貢献事業」では、依頼演奏として小学校でのコンサートを行い、地域の音楽文化・ジャズ文化の普及に努めました。

- ・「グランドピアノ演奏体験」では、市民のニーズが高い事業であることから、より多くの方に参加していただけるよう受付方法や時間を改善し、受付枠を増やして募集を行いました。

【鑑賞型事業】

- ・日本を代表する伝統芸能である「松竹大歌舞伎」を4年ぶりに実施し、恒例となっている0才児からのコンサートシリーズとして「歌う海賊団ッ！ファミリーコンサート」を実施するなど優れた舞台芸術公演を実施しました。

- ・松竹大歌舞伎において、市内公立小中学生(小学5年生から中学3年生)及びその保護者への無料鑑賞招待を実施し、100組221名の応募がありました。アンケートによると、初めて歌舞伎を鑑賞した子どもが多かったが、イヤホンガイドを活用して内容を理解できた子どもも多く、一流の伝統芸能に触れる機会を提供し、伝統文化の普及・継承に貢献しました。

- ・「市民プロデュース公演応援プロジェクト〈共催事業〉」では、過去の採択事業で高い評価を得た団体と初めて共催し、「歴女の追奏～音は世につれ世は音につれ～」を開催しました。共催事業として練習・広報のサポートや打ち合わせ等も綿密に行い、多くの来場がありました。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>前回意見 「地域への貢献性が高いと評価できる。今後も引き続き地域の文化振興に寄与し、さらなる利用者の増加に向けた取り組みに努められたい。」</p> <p>取組み状況 ・市民プロデュース公演応援プロジェクトによる文化団体への支援以外にも、初めて舞台公演を行う新規団体に対して、これまで文化会館の運営で培ってきた経験を活かしてアドバイスを行い、予約受付から本番まで丁寧に対応しています。また、高齢化等により会員不足に悩んでいる文化団体に向けて、1Fロビーやホームページ上に掲載することができる会員募集サポート制度を開始し、新規団体にも積極的に周知しています。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>1. 新たな利用者の開拓とリピーターの確保 ・利用相談会では、利用者のニーズに合わせた施設の活用方法を提案することで、新規利用者の獲得及び稼働率の向上に努めます。 ・文化センターの一部の施設では4月よりWi-Fi、有線LANが利用可能なため、オンライン、ハイブリッド開催の相談・提案を行います。 ・文化センター小劇場のプロジェクターが映画館並みの明るさで投影できるタイプに更新されたため、ホームページ等で公表し、新たな利用者の開拓に努めます。 ・文化センター外周にある街並ギャラリーに施設案内の掲示を行い、これまで館内の施設を知らなかった市民にも周知を図ります。</p> <p>2. 利用者への情報提供 ・文化会館で運用するホームページやSNSのアカウントを活用し、市民の劇場・市民ふれあい事業における参加者募集やチケット発売の告知、施設の催し物案内等、市民への情報提供に努めていきます。 ・文化センターでは、金公園についても公園整備課と連絡を密に行い、可能な限り協力することで、トラブルの発生防止や解決に取り組めます。 ・併設レストランであるグリーンヤングと月1回打ち合わせを行い、利用者にも有益な情報はホームページ等で案内します。</p> <p>3. 施設・設備の点検・修繕・省エネ ・費用対効果を考慮しながら、照明のLED化を進めます。 ・冷暖房需要が高まった場合や燃料費の高騰等にも対応できるよう、省エネマニュアルに沿って光熱水料費の節約に努めます。</p> <p>4. 市民の劇場・市民ふれあい事業 【市民参画創造型事業】 ・市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」では「第16回ぎふジャズフェスティバル」を実施します。また、「第16回ぎふジャズフェスティバル」で障がい者割引を実施するなど公演に参加しやすい環境づくりに努めます。 ・9月下旬より開催している「第45回ぎふアジア映画祭」では、引き続き上映を実施するとともに、次年度の開催に向けて毎月市民ボランティアとともに作品選定・企画会議に取り組めます。 ・「市民スタッフ事業」では12月に開催予定の「ぎふ市民会館寄席」の開催に向け、市民ボランティアとともに準備を進めています。 ・「市民プロデュース公演応援プロジェクト<公募>」では、文化団体による優れた舞台芸術企画を募集するとともに、採択された団体の広報、本番への準備を含めてサポートします。また、高い評価を得て共催事業提案権を付与した団体に対して、ステップアップとして共催事業実現へサポートします。</p> <p>【普及啓発・育成型事業】 ・市内小中学校を対象に「楽市JAZZ楽団」によるジャズ演奏や重要無形文化財保持者らによる能楽のアウトリーチを実施することで、子どもたちが音楽や伝統文化に触れ、親しむ機会を提供します。 ・「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、岐阜市主催イベントや市外小学校記念式典に出演・演奏することで、ジャズ文化の普及に努めます。 ・地域の文化団体や中学と連携し、「ぎふ演劇ワークショップ中学生の部」や「岐阜市中学校美術作品展」を実施します。 ・地元劇団で活躍する劇作家を講師に迎え7月より開催している「戯曲セミナー&リーディング発表会」では2月の優秀短編発表会の開催に向け、準備を進めています。</p> <p>【鑑賞型事業】 ・子育て世帯、ファミリー層向けに「さかなクンのギョギョッとびっくりおさかな教室in岐阜」の公演を共催事業として実施します。</p>

●所管課の意見

・昨年度同期と比較すると、利用者数は両館とも増加しているが、各室稼働状況は大きな貸室(文化センター催し広場及び小劇場、市民会館大ホール)において減少している。
・両館とも設備を中心に老朽化が進行しているが、指定管理者による管理者点検等により、施設を適正に維持管理できている。
・各種文化芸術事業により文化芸術振興を図っており、指定事業「市民プロデュース公演応援プロジェクト」においては、採択された文化芸術団体が事業目的に沿って成長し、共催事業としての開催により、来場者から高評価を受ける質の高い公演を開催できるようになった。そのほかの指定事業や自主事業においても、地元団体を中心に公演に取り組むきっかけづくりや相談窓口として機能し、文化芸術振興が図られていると評価できる。
・新たな事業提案や業務改善に前向きに取り組むことで利用促進に努めており、今後もより多くの利用者が安心して施設を利用できるようきめ細やかなサービスを継続することで、市の文化芸術振興の一役を担うことを期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

・地域への貢献性が高いと評価できる。今後も引き続き地域の文化振興に寄与し、さらなる利用者増加に向けた取り組みに努められたい。